

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134021099	家庭科教育法A Teaching Method(home-making)A	栗田 舞			2	選択	2前期

科目の概要

DP4に記載している衣・食・住および地域活性に関連する専門的知識・技能を身に付け、地域再生に貢献することができ、DP2・3・5・6にあるように自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる家庭科教員の育成を目指します。そのために、この科目では、高等学校における家庭科教員に必要な知識と具体的な指導方法を身につけます。また家庭科の教科としての概要と指導内容、そして様々な指導法を修得します。家庭科の様々な分野の教材研究を行ない、学習指導案を作成し、模擬授業を行います。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領「家庭」および専門教科「家庭」の概要を知る。 ② 教員として、生徒に何をどのように教えたいか、何を修得させたいかを考える。 ③ 学習指導案を作成し、家庭科の授業を創り上げる。	① 学習指導要領「家庭」および専門教科「家庭」の内容が説明できる。 ② 教育問題に対し関心をもち、教材研究や学習指導案を作成するのに役立てることができる。 ③ 家庭科の授業を成立させ、授業を行なうことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分で課題を設定し、その解決のために自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実践の場面に備え、学校現場で通用する言動を修得する。
考え抜く力	課題発見力	自分自身の課題のみならず、家庭科の教材における教育目標を見極める力を身につける。
	計画力	
	創造力	生徒の多様性に配慮し、様々な視点や立場で考えることができる。
チームで働く力	発信力	考察した学習指導案に基づき、分かりやすく伝える努力をすることができる。
	傾聴力	他者からの発案や他者の考えをきちんと聞き、自分自身の視野を広げることができる。
	柔軟性	他者の意見や学校における生徒との対応のなかで、共感をもって受け入れる姿勢を身につける。
	状況把握力	
	規律性	他者の気持ちになって考え、行動することができる。
	ストレスコントロール力	教員として学校で働くときの、様々な場面を想定し対処法を考えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：「実践的指導力をつける家庭科教育法」・多々納道子、伊藤圭子・(株)大学教育出版・2,200円＋税
 「家庭基礎 自立・共生・創造」・東京書籍
 参考文献：「高等学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省

他科目との関連、資格との関連

「家庭科教育法A」は専門科目の教職に関する科目の一部である。その後履修する「家庭科教育法B」「家庭科教育法C」「家庭科教育法D」の基盤となる科目である。
 資格との関連：中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 理想とする教師像をもっていること。 履修者全員で高め合う授業なので、積極的に参加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活のなかで常に問題意識をもつこと。 教員となったときに生徒に何を伝えたいか、何を修得させたいかを明確にもつことができるようになることを期待する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	40	①	✓	
			②	✓	
			③		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)は、レポートや学習指導案に工夫がみられ、成果発表の方法に工夫がある。全体を通して講義に積極的に参加する。</p> <p>A(優)は、レポートや学習指導案が所定の書式に沿っている。成果発表の内容が分かりやすい。</p>	<p>レポートや学習指導案を提出し、成果発表を行なう。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	普通教科「家庭科」・専門教科「家庭科」の概要と展開	講義・質疑応答 ディスカッション google meet	普通教科「家庭科」・専門教科「家庭科」の概要を理解する	(予習) 今までの学校や教師との関わりをまとめる (復習) 自分自身の経験と合わせて、振り返る	180	傾聴力 規律性
2	学習形態・教授法・学習指導案の形態	講義・質疑応答 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	学習形態・教授法・学習指導案の形態を理解する	(予習) どのような教授法を経験してきたかをまとめる (復習) 様々な教授法について考察する	180	傾聴力 規律性
3	家族分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加し、内容を理解する	(予習) 家族分野における教材研究 (復習) 家族分野での授業案を検討する	180	主体性 課題発見力
4	高齢者・保育分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加し、内容を理解する	(予習) 高齢者・保育分野における教材研究 (復習) 高齢者・保育分野での授業案を検討する	180	主体性 課題発見力
5	食生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加し、内容を理解する	(予習) 食生活分野における教材研究 (復習) 食生活分野での授業案を検討する	180	主体性 課題発見力
6	衣生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加し、内容を理解する	(予習) 衣生活分野における教材研究 (復習) 衣生活分野での授業案を検討する	180	主体性 課題発見力
7	住生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加し、内容を理解する	(予習) 住生活分野における教材研究 (復習) 住生活分野での授業案を検討する	180	主体性 課題発見力
8	消費生活分野における教材研究と学習指導案の書き方	グループ討議・講義 ディスカッション google meet、google classroom レポートの解説	グループ討議に参加し、内容を理解する	(予習) 消費生活分野における教材研究 (復習) 消費生活分野での授業案を検討する	180	主体性 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	家族分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 家族分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	実行力 発信力
10	高齢者・保育分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 高齢者・保育分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	実行力 発信力
11	食生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 食生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	実行力 発信力
12	衣生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 衣生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	創造力 柔軟性
13	住生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 住生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	創造力 柔軟性
14	消費生活分野における模擬授業と全体検討	個人発表 講義 ディスカッション google meet、google classroom 学習指導案の添削	ディスカッションに参加し、内容を理解する	(予習) 消費生活分野における学習指導案の作成 (復習) 作成した学習指導案を完成形にする	180	創造力 柔軟性
15	教育実習の心得 家庭科の評価 まとめと総括	オンデマンド・質疑応答 ディスカッション google meet	教育実習の心得、家庭科の評価を理解する	(予習) 教育実習で学ぶべき視点、家庭科の評価について考察する (復習) 教育実習で学ぶべき視点、家庭科の評価についてまとめる	180	ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
134022100	家庭科教育法B Teaching Methods for Home Economics B	佐橋 那央子			2	選択	2後期

科目の概要

高等学校家庭科教育の目標および育成を目指す資質・能力を体系的に理解し、学習者が主体的に生活を営むための指導法の基礎を探究する。衣・食・住の各領域における学習内容を整理し、ライフスタイルのデザインに不可欠な専門的知識・技能（DP3）の要点を把握するとともに、学習指導理論を踏まえた具体的な授業設計の手法を身に付ける。これらの過程を通じて、人々の日常生活や地域活性を支援できる実践的な視点（DP4）を養う。さらに、生涯学習社会において自己の潜在能力を開発し続け、職場や地域・国際社会の課題解決に貢献できる（DP7）教育者としての基礎的な資質を育む。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領における共通教科・専門教科「家庭」の内容について理解を深める。 ② 家庭科の特性や生活課題を捉えた教材研究を行い、それに基づいた論理的な学習指導案を作成する。 ③ 学習者の主体性を引き出すための基本的な指導技術を習得し、具体的な場面を想定した模擬授業とその振り返りを行う。	① 家庭科教育の目的と学習内容の構成を正しく理解し、その要点を説明することができる。 ② 専門的知見を活かして教材研究を行い、生活課題を解決するための指導案を作成することができる。 ③ 適切な指導技術を用いて模擬授業を実践し、自らの課題と改善策を提示することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自ら進んで高校家庭科の現代的課題を調べ、学習を進めているか。
	働きかけ力	グループでの教材研究や指導案検討において、周囲を巻き込み協力して取り組んでいるか。
	実行力	設定した学習目標の達成に向け、適切な指導案を作成し、模擬授業を最後まで完遂できるか。
考え抜く力	課題発見力	高校生の生活実態から教育的課題を見出し、解決に繋がる教材や指導法を自ら考えられるか。
	計画力	模擬授業に向け、教材の準備、教具の作成、板書計画などを時間内に効率よく進められるか。
	創造力	専門知見を活かし、高校生の興味・関心を高める独自の工夫や、創意工夫のある指導方法を行えるか。
チームで働く力	発信力	模擬授業や検討会において、受講者の反応を意識しながら、自分の考えを分かりやすく伝えられるか。
	傾聴力	他者の実践や意見を真摯に聞き、お互いの成長に繋がる適切な評価や助言ができるか。
	柔軟性	模擬授業中の予期せぬ反応や、検討会での助言を柔軟に受け入れ、自身の指導案の改善に活かせるか。
	状況把握力	グループ内での自分の役割を理解し、全体の進捗状況に合わせて適切に行動できるか。
	規律性	遅刻・欠席をせず、実習時の身支度を整え、指導案やレポート等の期限を厳守しているか。
	ストレスコントロール力	模擬授業などの緊張する場面でも、感情をコントロールし、教育者として落ち着いて振舞えるか。

テキスト及び参考文献

<テキスト>

「高等学校学習指導要領解説 家庭編」文部科学省
 「図説 家庭基礎」実教出版

<参考文献>

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説家庭科編
 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校編）』国立教育政策研究所教育課程研究センター

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「家庭科教育法B」は教職に関する科目に配置されており、「家庭科教育法A」で獲得した知識・技術を活用する。

資格との関連：中学校教諭一種（家庭）、高等学校教諭一種（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 毎回のテーマに沿って学習指導要領の該当箇所や配付資料を事前に読み込み、自分なりの疑問点や関心を持って授業に臨んでください。 指定するテキストや参考資料を精読し、家庭科の専門的知識を授業設計にどう活かすか、常に意識して学修しましょう。 日々のニュースや社会情勢（人、環境、地域社会の動向など）に関心を持ち、それを「自分ならどう教材化するか」という視点で捉える習慣を身に付けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻や早退を避け、全員で集中して取り組める環境づくりに協力してください。 模擬授業で使用する教材、道具、配布資料などは、「どのような資料があれば学習者に伝わりやすいか」を自ら考え、各自で責任を持って準備してください。 お互いの発表を尊重し、良い点や改善点を積極的に共有し合うことで、クラス全体で実践力を高めていく姿勢を大切にしてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		50	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			40	①			
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：【レポート】高校家庭科の専門知見を独自の工夫で展開し、極めて論理的かつ説得力のある記述ができる。【成果発表】学習者の主体的な学びを誘発する高度な技術を用い、極めて効果的な授業を実践できる。【社会人基礎力】常に主体的な姿勢で、他者への建設的な助言や高度な協調性を発揮している。</p> <p>A：【レポート】講義の要点を正確に理解し、具体的事例に基づいた論理的で丁寧な記述ができる。【成果発表】適切な技術と伝わりやすい構成を用い、円滑な授業・プレゼンテーションができる。【社会人基礎力】真摯な態度で受講し、教育者としての適切なマナーや他者への助言ができる。</p>	<p>B：【レポート】専門知識を概ね活用し、指導要領の趣旨等、指定された要件を満たして記述できる。【成果発表】作成した計画に沿って、大きな滞りなく授業・プレゼンテーションを完遂できる。【社会人基礎力】適切に受講しており、期限遵守などの基本的なルールを概ね履行している。</p> <p>C：【レポート】基本事項を理解し標準的な内容で記述できるが、考察や具体性に欠ける点がある。【成果発表】準備された資料に基づき、最低限の模擬授業を最後までやり遂げることができる。【社会人基礎力】受講態度に特段の問題がなく、他者の実践に対して基本的な視点からコメントできる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス 高校家庭科の概要	講義 グループワーク	高校家庭科の目的と教育課題を関連付けて説明できる	〈予習〉自身の受けた高校教育を振り返る 〈復習〉令和の日本型教育のポイントを整理する	180	主体性 規律性
2	学習指導要領の改訂と「三観点別評価」の実践	講義 グループワーク	指導上の留意点と評価方法(三観点)を理解できる	〈予習〉学習指導要領「家庭」を読破する 〈復習〉評価のポイントをまとめる。	180	課題発見力 規律性
3	高校教科書の読み解き	講義 グループワーク	教科書の構成と内容を正確に把握し、提示できる	〈予習〉指定教科書を読み込む 〈復習〉教科書内容と学習指導の関連を確認する	180	主体性 創造力
4	論理的な学習指導案の構成・書き方	講義 グループワーク	指導案の書式を正しく理解し、作成に取り掛かれる	〈予習〉指導案の書き方を調べる 〈復習〉指導案作成のポイントを整理する	180	実行力 規律性
5	指導案の個別指導と教材選定	講義 グループワーク	自ら調べ学習を進め、模擬授業に使用可能なレベルの指導案を完成できる	〈予習〉模擬授業の学習テーマと教材候補を決定する 〈復習〉指摘事項を反映させ、指導案の精度を高める	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	指導案の相互検討	講義 グループワーク	お互いの成長に繋がる適切な助言ができ、自案の課題を特定できる	〈予習〉検討用に自身の指導案を整理・複製する 〈復習〉検討会での助言を元に指導案を最終修正する	180	主体性 実行力
7	模擬授業シミュレーション：板書計画と空間演出	講義 グループワーク	適切な板書計画を立て、工夫ある指導方法でのシミュレーションができる	〈予習〉板書計画図(黒板の構成案)を完成させる 〈復習〉教材・教具の微調整を行う	180	計画力 創造力
8	模擬授業(1)：【導入】と「本時の問い」の提示	模擬授業 グループワーク	計画通りに導入を実施し、振り返りを通じて自己の課題を特定できる	〈予習〉導入場面のセリフと手順を練習する 〈復習〉検討会での指摘を元に導入の構成を改善する	180	課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	模擬授業(2):【板書】思考のプロセスを可視化する技術	模擬授業 グループワーク	受講者(生徒役)の反応を捉えながら、適切な板書で授業を整理できる	〈予習〉思考を促す板書の配色・構成を再考する 〈復習〉他者の板書から学びを整理し、自案をアップデートする	180	発信力 傾聴力
10	模擬授業(3):【教具・教材】の提示法と説明技術	模擬授業 グループワーク	工夫ある教具提示を行い、建設的なフィードバックを他者に提供できる	〈予習〉教具提示の手順と説明のタイミングを確認する 〈復習〉教具の改善点を具体的レポートにまとめる	180	創造力 発信力
11	模擬授業(4):【デジタル・ICT活用】主体的学びの促進	模擬授業 グループワーク	CT機器を適切に操作し、目標達成に向けた効果的な指導ができる	〈予習〉使用するデジタル教材の動作確認と操作練習を行う 〈復習〉ICT活用の有効性と今後の課題を考察する	180	実行力 創造力
12	模擬授業(5):【実技・演習】安全管理と机間指導	模擬授業 グループワーク	安全に配慮しつつ、お互いの成長に繋がる実技指導・評価ができる	〈予習〉実技指導のチェックリストを作成する 〈復習〉実技場面における評価のポイントをまとめる	180	傾聴力 柔軟性
13	模擬授業(6):【まとめ・振り返り】学びの価値付け	模擬授業 グループワーク	授業を適切に総括し、生徒の学びを次時の意欲へ繋げることができる	〈予習〉振り返りを促す「問いかけ」の言葉を作成する 〈復習〉自身のまとめの技術をリフレクションシートに記録する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	模擬授業(7):【問い返し】柔軟な対話と深化	模擬授業 グループワーク	受講者(生徒役)の反応に柔軟に対応し、思考を深める問い返しができる	〈予習〉生徒から出そうな質問・反応を3パターン以上想定する 〈復習〉自身の対話技術の課題と今後の改善策を特定する	180	課題発見力 傾聴力
15	総括・リフレクション:実習に向けた教育ビジョンの構築	講義 グループワーク	これまでの学びを統合し、実習に向けた具体的な改善指針を提示できる	〈予習〉自身の全指導案と評価記録を見返す 〈復習〉最終レポートを完成させる	180	主体性 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力